

## 中学校部会 分科会② 第3学年 【吉島会場】

### 研究主題 論理的な思考力の育成

～「検討」「精査」の過程における思考の見える化をとおして～

## 広島市立仁保中学校

### 1 はじめに

現代社会において、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な視点から物事を捉えて自分の意見を持ち、相手に分かりやすく表現することが求められている。

こうした中、広島市中学校教育研究会国語・書写部会では、「論理的な思考力の育成」を研究テーマとして実践研究を行ってきた。本校では、「読むこと」に関する問題で、作者の問題の意図を読み取って、文章表記することや、問題を解くことに課題がある。

このような課題を踏まえ、小説において表現等に注目しながら内容を正しく解釈し、自分の考えを表現することができるようになるために、第3学年「読む」領域の「故郷」を題材として実践研究を行うこととした。

### 2 研究の概要

#### (1) 研究仮説

前述の課題に対し、「読むこと」の学習において、「故郷」及び既習作品における登場人物による『with コロナ時代における人間の生き方(夢の持ち方)』というテーマで座談会を設定し、思考の見える化を意識した台本を作成するという言語活動を行うことで、本文の内容を正確に捉えた上で、新しい視点から自分の意見をもつことができるであろうという仮説を立てて実証研究を行った。

#### (2) 研究の内容

表現等に注目しながら、本文の内容を正確に捉えさせるための授業づくりとして、

- ① 自分の意見(主張)を持たせるために根拠、理由を明確にさせる。
- ② 人物像や内容を正確に理解しているか確認するために、【with コロナ時代における人間の生き方(夢の持ち方)】というテーマで、「故郷」の登場人物と、今回の授業では第2学年で学習した「走れメロス」のメロスを交えての座談会を設定する。
- ③ 単元前後に全国学力・学習状況調査の「自分の意見を持つこと」に係る正答率の比較分析を行う。

### 3 実践例

第3学年 『故郷』 (国語3 光村図書出版)

#### (1) 指導目標

##### 【領域】

- ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。  
(知識・技能(2)ア)
- ・登場人物の生き方を通して、考えを広げたり深めたりして、人間の生き方についての自分の意見をもつことができる。(思考・判断・表現C(1)エ)
- ・粘り強く描写等に注目しながら登場人物の設定の仕方などを捉え、自分の意見を持ち、座談会の台本づくりをしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

#### (2) 単元について

「故郷」は多様な人間の姿が描かれており、人間の生き方について自分の意見を持ち深められる教材である。

#### (3) 指導方法の工夫について

「故郷」に描かれた時代や状況とは違う「with コロナ時代での」という設定で座談会を行うため、作品における登場人物の人物像を正確に把握し、苦しい状況が続く現代と結びつけることにより、内容解釈にとどまらず、作品に対する見方や考え方を広げると

いう点で新たな価値の創造を目指した。その際、「ルントウ」、「ヤンおばさん」の人物像が後ろ向きであるため、これまでの小説で学習した人物で、前向きに生きる姿を表した「メロス」を取り入れることにより、「私」の意見を支えることができるのではないかと考えた。また、自分の意見をもたせる際は、「根拠→理由→主張」の流れを踏まえた。

### 指導計画と評価の計画の一部

次	時	学習活動	指導上の工夫・留意点	評価方法
3	4 . 5 . 6	・場面設定や登場人物【私・ルントウ・ヤンおばさん】に着目して人物像や場面（状況）を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この後、『座談会』をすることを説明し、そのために人物像の把握が必要なことを理解させる。 『根拠→理由→主張』の三角ロジックを用いて考えさせる。</li> <li>・「私」と他の登場人物との関係を整理させる。</li> </ul> <p><u>*留意点として、教師が誘導するのではなく、生徒に自発的に考えさせるように促す。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「故郷の様子」、「ルントウ」、「ヤンおばさん」について、回想の場面と現在の場面とを比べて、描写がどのように変化しているかが分かる部分を、それぞれ抜き出させる。</li> <li>・「ルントウ」と再会した場面で「私」が感じた「悲しむべき厚い壁」とは何か考えさせる。</li> <li>・最後の場面で「私」が抱く「希望」や、望む社会とはどのようなものなのか、「私」と「ルントウ」、「ホンル」と「シュイジョン」の関係などを踏まえて捉えさせる。</li> </ul>	◆人物像や相互関係、時代背景に関する作品の特徴を探そうとしている。

### 成果と課題（成果○、課題●）

- 座談会の台本や単元後の感想の分析、単元前後の比較から、文章を読んで自分の考えをもち、表現する力の向上が見られた。
- 課題の設定やワークシートの工夫、グループによる検討により主体的に学ぶ姿が見られた。
- 全国学力・学習状況調査、三の問四『文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。』問いを再度行った結果、1回目の正答率を34ポイント上回っていた。
- 他の教材においても、新たな角度から作品を読もうとする姿勢が見られるなど、新しい価値の創造につながった。
- 自分の考えを明確にわかりやすく表現できるよう、引き続き、主張、根拠、理由などを意識しながら学習に取り組ませる必要がある。